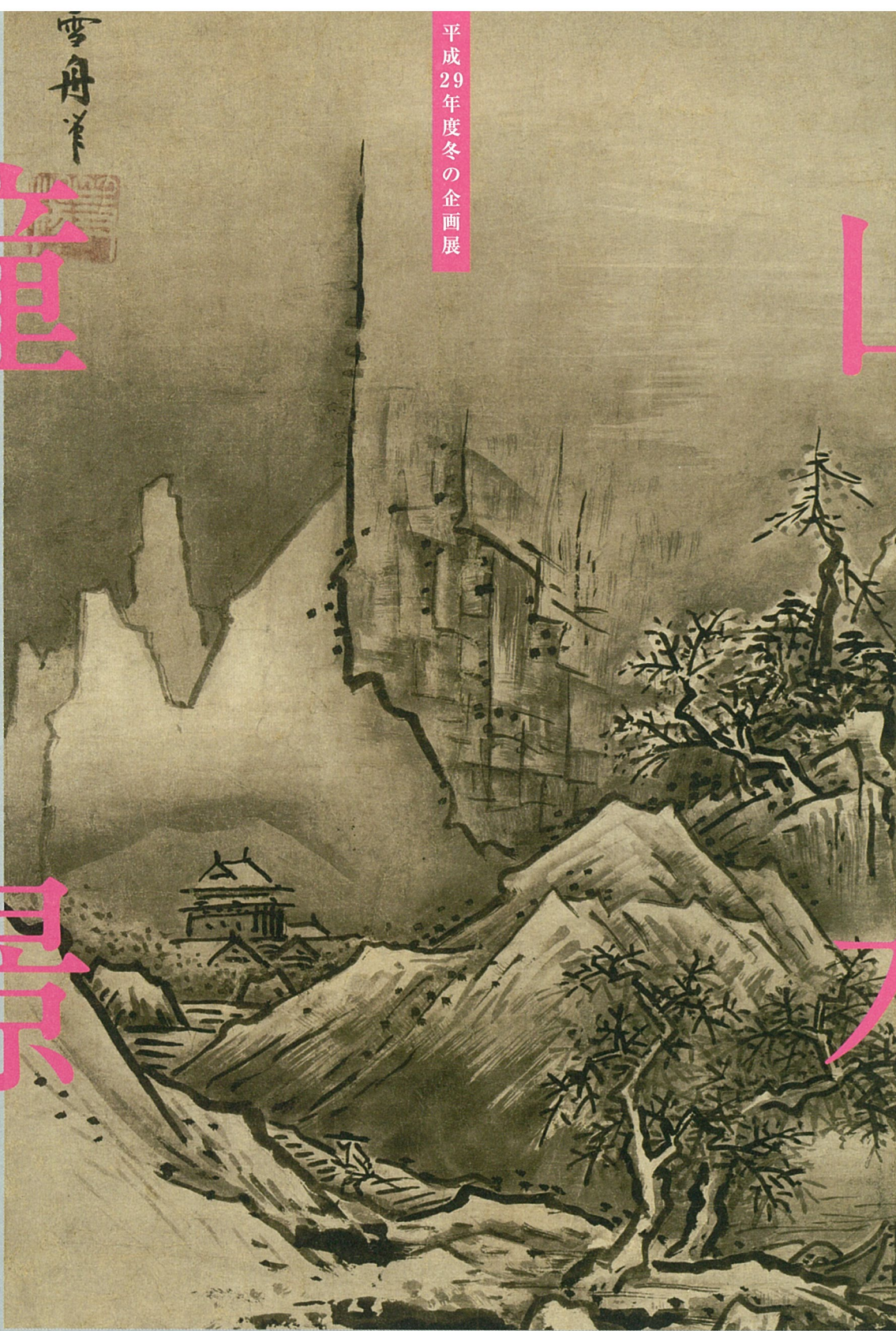


山 憶 水

平成29年度冬の企画展



国宝 雪舟等楊「秋冬山水図」のうち冬景 東京国立博物館所蔵Image:TNM Image Archives 冬景は前期(1月13日～1月28日)の展示です

会期／平成30年1月13日(土)～2月18日(日)

会場／福島県立博物館企画展示室

観覧時間／午前9時30分～午後5時 ＊入館は午後4時30分まで 休館日／毎週月曜日(2月12日は開館)、2月13日

観覧料／一般・大学生500円(20名以上の団体400円) 小中高校生無料 ■主催:福島県立博物館 ■特別協力:東京国立博物館

■講演会「国宝とは何か－文化財保護・博物館・美術工芸品」

日時:平成30年1月13日(土)13:30～15:00 講師:佐藤康宏(東京大学教授) 会場:福島県立博物館企画展示室 ＊要企画展チケット



お問合せ・お申込み先

福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25 TEL:0242-28-6000 FAX:0242-28-5986
<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

雪舟 蕪村 応挙 水墨の山野に遊ぶ



重要文化財 与謝蕪村「山行楽図屏風」



円山応挙「雪中老松図」



「染付山水図大鉢 伊万里」



「楼閣山水蒔絵宝石箱」

全て東京国立博物館所蔵
Image: TNM Image Archives

山水憧憬

遠くそびえる山並、清らかな滝や川、湖。山懐に抱かれたような楼閣や庵。日本美術の主要な画題の一つである「山水」は、長く、日本人の自然への憧憬、畏怖を形にしてきました。

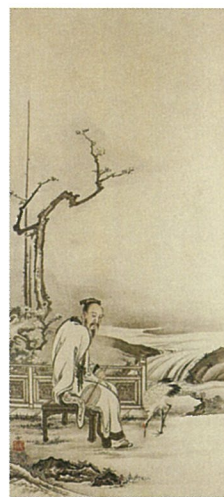
本展では、東京国立博物館の特別協力により同館が所蔵する「山水」をテーマとする水墨画の名品から10件、工芸品から8件をご紹介します。

我が国水墨画の大成者とされる雪舟等楊の「秋冬山水図」(国宝)をはじめ、江戸時代の与謝蕪村、円山応挙らの作品を通して水墨画の多様な表現と画家の個性に触れることができるでしょう。また、平安時代から江戸時代にわたる工芸品の数々は、人々の思いを受け止めて表現してきた日本の工芸の技と美の素晴らしさを伝えてくれます。

水墨画のようにうつくしい冬の会津で、日本が誇る山水の名品をご覧ください。



狩野山雪「林和靖・山水図」



■講演会「国宝とは何かー文化財保護・博物館・美術工芸品」

日時:平成30年1月13日(土)13:30~15:00

講師:佐藤康宏(東京大学教授)

会場:福島県立博物館企画展示室 *要企画展チケット

「山水憧憬」展の開催にあわせ、福島県立博物館収蔵の名品をご紹介します恒例のテーマ展「けんぱくの宝2017」では、当館所蔵の山水画題の美術工芸品を展示します。あわせてご覧ください。

【関連展示】テーマ展 けんぱくの宝2017

会期:平成29年12月23日(土)~平成30年2月18日(日)

休館日:12月28日~1月4日、毎週月曜日(2月12日は開館)、2月13日

観覧料:一般・大学生 270円(20名以上の団体210円)、小中高校生 無料

*常設展料金でご覧になれます。



■お問合せ・お申込み先

福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25

TEL:0242-28-6000 FAX:0242-28-5986

<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

■会津若松駅から約3km タクシーで約10分

■会津若松駅から

まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分

(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分

(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

